

議会だより



“おもてなしガイド”で地域の魅力を発信（松島ボランティアガイドの皆さん）

- ◇ 7人の議員が熱弁（一般質問）…………… 2P
- ◇ 町長の考えを問う（総括質疑）…………… 13P
- ◇ 私はここが聞きたい
～決算審査特別委員会～ …… 15P
- ◇ 避難所つぎつぎ完成（議案審議）… 23P
- ◇ 町民の声…………… 34P

平成28年
第3回 定例会

[9月2日～9月16日]

町政Q&A

一般質問

ここが聞きたい!

7人の議員が 12件について質問

櫻井 靖 議員 (3ページ)

- ◆ どう使う、避難施設
- ◆ 広報まつしまを読みやすく

後藤良郎 議員 (4ページ)

- ◆ ランデブーポイント(離着陸場)の整備を

菅野良雄 議員 (5ページ)

- ◆ 企業誘致の現状について
- ◆ 東京オリンピックを町の活性化に

高橋幸彦 議員 (6ページ)

- ◆ スポーツ振興による町政発信を

色川晴夫 議員 (7ページ)

- ◆ 「おもてなしの心」をもって、観光棧橋に「日よけ」の整備を
- ◆ 仙台空港民営化に伴い、インバウンドなどの観光客誘致にどう活かすのか

赤間幸夫 議員 (8ページ)

- ◆ 台風(風水害・高潮等)への備え、防災の為にタイムラインは
- ◆ 小・中学校トイレの実態とその対策は

今野 章 議員 (9ページ)

- ◆ 高城町駅前の整備の考えは
- ◆ 貧困対策、庁内連携は



さくら い 櫻 井 やし 靖 議員

一般質問

問 どう使う、避難施設

答 協力体制を構築し、利用者に意見を聞きながら備品を整備していく

問 避難施設、避難所が完成している。いざというときに施設として機能するのか、不足しているものはないか点検をし、十分有効活用できるようにすべきではないか。

危機管理監 大規模な災害時には職員だけで全ての避難所を運営することは困難と考えている。避難所開設訓練を実施するなどして協力体制を構築していく。

また、今後、多くの方々に利用してもらいながら意見を聞き、必要と思われる備品は充足したい。

問 高城避難所屋上の防災行政無線スピーカーの設置はどうなっているのか。



オープンした高城避難所フリースペース

危機管理監 現在、製品の製造に入っており、工期としては29年2月末の完成予定となっている。

問 避難所の平時の活用について、1年前に、一般質問で高城避難所の活用について回答いただいたが、その後どうなっているのか。

危機管理監 高城避難所のフリースペースとしての活用については、昨年度、備品など整備し、今年10月より3階の多目的

ホールの2区画を使いフリースペースとして試行開設する。今後、利用者の意見等踏まえながら活用をさらに検討していく。

問 東浜地区の避難所は、出来て1年足らずだが草が生い茂っている。しっかりと整備してほしい。

町長 東浜の避難場所については、今やっている隣接の工事が完了次第、環境整備を今後考えていきたい。

問 広報まつしまを読みやすく

答 今後リニューアルを検討しながら読みやすくわかりやすい広報紙にしていく

問 広報まつしまの重要性をどう考えているのか。現在の広報まつしまは大変読みづらいのではないか。

町長 町の施策やまちづくりの取り組みなどについて理解を深めてもらい、住民の皆様にもちぎりに興味、関心を持ってもらうための重要な情報媒体であるとともに歴史を残す記録媒体と認識している。

今後、リニューアルを検討しながら、町の広報を読みやすく、わかりやすくしていきたい。

問 広報まつしま、ホームページ、SNSはもっとお互い連携し合い、各課もそれぞれ旬な情報を

伝える努力をすべきではないか。

企画調整課長 SNSなどには、取材した時点で速やかに掲載できるように努めていきたい。そして行事の告知などにもっと活用していきたい。



広報まつしま

問 ランデブーポイント(離着陸場)の整備を

答 本町は候補地として6カ所選定されている



後藤 良郎 議員

問 本町ではドクターヘリが着陸し、救急車と合流するランデブーポイントを、何カ所予定しているのか。

町長 宮城県ドクターヘリは東北大病院院と仙台医療センターを基地局として、本年10月28日より運航が開始される。

ランデブーポイントは8月16日現在、県内で37カ所が候補地として選定されている。

本町においては、町管理分として松島フットボールセンター、松島運動公園、町民の森、松島東部地域交流センターの4カ所、その他として、陸上自衛隊反町分屯地と磯島の2カ所、合計6カ所である。

一般質問

問 ランデブーポイントの候補地については、現在消防機関が選定して県に推薦する仕組みになっているが、できるだけ多くのポイントを設置するため今後、各行政区など地域住民からの推薦を受けつけてはどうか。

町長 各行政区等ということであるが、ドクターヘリのランデブーポイントについては、ヘリコプターの運行に当たり安全面を最優先する必要がある。

場所の選定については広い敷地であることや住宅や電線、樹木の障害物等が無いことが前提条件になる。

さらには救急車への中継地点であることから、ある程度の道路整備がされている必要がある。現在の候補地選定については、消防機関と宮城県が協議の上で進めているところである。

今後、地域住民の意見も参考にしながら選定条件を満たすような候補地があれば、宮城県に対しても要望していく。



ドクターヘリ



ランデブーポイント

問 他県では、すべてのランデブーポイントに、看板を設置している自治体がある。

住民にランデブーポイントの場所を周知するとともに、ドクターヘリの活動について理解を深めるために、看板を設置すべきであるがどうか。

町長 看板については、住民に周知する上で大変効果大きい手法であると考えます。

看板設置についてはランデブーポイントの環境整備事業補助金で1カ所当たり50万円を上限として、100%補助が適用される。

ドクターヘリの活動を多くの町民に理解していただき、安全なドクターヘリの運航ができるよう周知するために、看板設置に向けて宮城県と調整していく。



菅野良雄 議員

問 企業誘致の現状について

答 工業向けの用途設定検討中

問 企業誘致で地域産業の活性化を図ることは、町長の重点公約の一つである。相手のあることで簡単でないことは理解できているが、任期四年のうち一年が経過した。公約を果たすためにはそれ相当の覚悟が必要であるが、今後の取り組みについて決意を伺う。

町長 財政を考えればやはり企業誘致を考えていけないとやっつけていけない。

県の企業セミナーであるが、名古屋と東京両方参加した。名古屋へ行っただときはマキシマファームの事業に参画した岡谷鋼機に寄ったり、三菱UFJ銀行に寄って放射光施設の説明をしたり、松島町の実態を話しながらいろんな人との出会いをつくり、できるだけ松島町に興味を持っていただくように努力している。

問 今は、国の重点施策である地方創生戦略で地方の働く場を増やす取り組みを行い、地域の活性化を図ろうとしている時期であり、絶好の機会ではないのか。



放射光施設Spring-8

町長 東北放射光については、放射光誘致協議会とも協議をし、看板を3カ所設置している。

東北大学の先生方とも気さくに話ができるというところでいろんな情報をもたらせる場所である。放射光施設を誘致しようとしている場所、土地利用については、本格的な誘致に向けて受け皿となるように、工業向けの用途設定を検討しているところである。

問 東京オリンピックピックを町の活性化に

答 検討するまでには至っていない

問 共同通信社のアンケートでは、合宿誘致や交流などに関心があると答えた市町村が9割を超えている。

本町はどう回答したのか分からないが、東京オリンピック開催を機会として松島町を世界に発信し、インバウンド政策を推進し町の活性化に活かす絶好の機会だと思いが、所見を伺う。



五輪旗

を期待するか」との問いについては、「訪日外国人を対象とした地域の観光資源PR」と回答している。また、「海外や日本代表チームの合宿誘致を行う予定があるか」との問いについては、「誘致を望む声はあるが具体的な計画案等は作成していない」と回答している。

企画調整課長 「東京オリンピックに関心があるか」との問いがあり、「関心はあるが取り組みを検討するまでには至っていない」と回答している。「政府や東京都組織委員会にどのような運営

問 スポーツ振興による町政発信を

答 表彰基準を明確にし、十分な検討・協議が必要



たか はし ゆき ひこ 議員
高橋幸彦

一般質問

問 ことしの夏は、松島中学校野球部の県大会優勝・東北大会準優勝、そして全国大会出場と、リオデジャネイロオリンピックの日本人選手の活躍と相まって、松島町民を大変喜ばせた。

松島のスポーツといえば、昭和40年から50年代にかけての松島中学校サッカー部の5回にわたる全国大会出場と、松島クラブのサッカー天皇杯の本大会出場や、18年前の松島中学校野球部の全国大会出場が有名であるが、当時の町の対応を伺いたい。たとえば、特別表彰を行ったとか。

教育課長 松島中学校サッカー部が全国大会で準優勝した昭和49年は、松島駅で花火が上がり町内を車でパレードした。全国大会出場で特別表彰等はない。

平成10年の松島中学校野球部全国大会出場は、今年と同様に、選手や学校関係者の宿泊、送迎等の助成を行った。

町民栄誉賞や賛辞の盾等については、その基準を明確にし取り組むべきであり、スポーツに関してどの水準を妥当と判断するか、十分な検討や協議が必要である。

問 少子化により、少年野球チームは町内1チームになり、ソフトボールチームはなくなった。松島中学校ソフトボール部は単独で新人戦に参加出来ないと聞いた。このような現状を打破するためにも、なんらかの表彰等が必要ではないのか。

教育次長 子供達に対する表彰は、2000年から体育協会が毎年行っている。

幼児からスポーツが楽しいものであるということを知ってもらうためにも、スポーツ少年団の人数を維持していくことは大変深刻な問題であり、教育委員会の中で十分協議し、今後の方向性を考えていく。



松中野球部東北大会の応援風景



色川晴夫 議員

問 「おもてなしの心」をもって、観光棧橋に「日よけ」の整備を

答 関係者の意見を聞き、県と協議する



乗船を待つ観光客

問 平成23年12月議会で質問した。当時の町長は「貴重な提言だと思つた。貴重な話として検討させたい」と答弁した。今年も暑い日が続き、炎天下のもと観光客の皆様は汗を拭き行列、乗船を待っていた。東京オリンピック誘致で「日本のおもてなし」をアピールした。松島も同様にうたっている。現在、日よけの整備は常識であり、松島は遅

れており、早急に整備する必要がある。これまで県と協議したのか。

副町長 震災復興優先で、県と協議は行っていない。

問 復興交付金事業の港湾整備で検討しないのか。

副町長 復旧事業でなく復興事業で取り組んでほしいと相談しているが、難しいとのこと。今後、船会社、観光協会などの意見を聞き、他の整備手法で対応できないか、県と協議していきたい。

問 仙台空港民営化に伴い、インバウンドなどの観光客誘致にどう活かすのか

答 二次交通対策として、仙台空港からの直行バスと鉄道利用で松島に乗り入れ検討

問 昨年1年間の訪日外国人観光客は1970万人であったが、東北に訪れたのはその1%である。7月、仙台空港は民営となり、着陸料の値下げ、LCC格安航空会社乗り入れや国内外の都市とを結ぶ路線の拡充に意欲を見せている。さらに、宮城県知事を中心に東北の知事やJR会長などが台湾を訪れ東北誘致に努めた。日本は少子高齢化により、国内旅行が減少し外国人観光客誘致は重要課題である。そこで、仙台国際空港と積極的につながるを深める必要がある。どう考えるか。

町長 現在、仙台空港から松島までの直行バス運行と、仙台空港アクセス鉄道の仙台駅乗り換えの利便性を高める事が可能か働きかけている。

問 松島観光のハード・ソフト両面の整備が必要ではないのか。

産業観光課長 瑞巖寺総門公衆トイレは現在地で建て替える。インバウンド対策としてWi-Fiの整備、指紋認証クレジットカード決済、ホテルでの自動翻訳機設置などを進める。

問 トップセールスでの観光客誘致を目指してほしい。

町長 県と町が役割分担し、協力行動していく。また、来年2月に台湾を訪問し誘致に努めていく。



問 台風(風水害・高潮等)への備え、防災の為のタイムラインは

答 災害に対応する町全体のタイムライン導入に向け検討したい



あか ま ゆき お 赤間 幸夫 議員

一般質問

問 発生予測ができる台風などの事前の行動を、「いつの時点で」「誰が」「何をすべきか」を決めておく※タイムラインは、どのようにしているのか。

町長 タイムラインは時系列でルール化し、関係機関が共有化することで災害対応の漏れや遅れを防ぐ手法である。今後、防災関係機関と協議を進め、さまざまな災害に対応する町全体のタイムラインの導入を検討する。

問 12行政区との情報交換はどのように行い、どのような形で住民への周知を行うのか。

危機管理監 情報交換は、電話により区長と行っている。災害等から電話が使えない場合には、各区長宅に配備した移動

無線での通信も可能にしている。

さらに、住民への周知方法としては緊急速報メール、安全安心メール、防災行政無線、ホームページ、フェイスブック、宮城県総合防災システムを活用したテロップ等により、データ放送、ラジオ等へ情報提供を行い、住民へ周知をしている。



台風7号の進路
9月の主な進路
台風12号の進路
台風に備えて(河北新報朝刊より)

まとめ タイムラインとは?

台風など災害が想定される数日前から、発生、その後の対応まで、さまざまな機関が災害時に何をするか、時間を追って整理した行動計画。

問 小・中学校トイレの実態とその対策は

答 和式の選択肢を残し、町の財政等も勘案し、目標改善率70%に設定

問 小・中学校トイレの和・洋式トイレの割合は。

教育課長 小学校は体育館等を含めて和式が61、洋式が36であり、洋式化率としては37%になっている。中学校は和式が16、洋式が22で、洋式化率58%である。

問 学校トイレの改善への認識は。

教育次長 公園など公共施設には、和式トイレがあることや洋式トイレの場合では「他人が座った便座に座るのが嫌だ」という生徒の中にはいる

が、今後考え方を整理し、もう少し洋式化率を上げる努力をしなければならぬと考えている。

問 学校トイレの改善計画を、どのように考えているのか。

教育長 和式という選択肢も残し、本町の財政等も勘案して、目標改善率を70%に設定している。今後も、保護者や子供達の声に耳を傾け、改善すべきタイミングを逃さず対応したい。



和・洋式トイレ
学校では...



あきらの 野 章 議員

問 高城町駅前の整備の考えは

答 平成30年を目標に整備する

問 仙石東北ラインの開業で高城町駅の利便性が高まった。町は、開業後の駅の利用状況等を把握しているか。

町長 仙石東北ラインの開業で、高城・仙台間の乗車時間は、通常より10分から20分短縮され、利便性が高まっていると認識している。

企画調整課長 高城町駅の1日の乗降客数は、仙石東北ライン開業前の26年度比で約2割、416人増加し、一方、松島駅は約2割、444人減少

している。主に磯崎地区からの流れかと考える。

問 駅の利便性向上を踏まえ、定住人口の増加へにぎわいと清潔感のある駅前整備が必要と思うが、駅前ロータリーやタクシープール、駐輪場の整備の考えを伺う。

町長 J A仙台松島支店から磯崎踏切までの避難道路は12月に完成予定。磯崎踏切、第2磯崎踏切の拡幅は平成30年度完成予定。高城駅前周辺整備は平成30年度完成を目標にしている。

建設課長 復興交付金事業は、避難道路の車・歩道の整備のみであり、駐輪場、ロータリー、タクシープール等の整備は財源の捻出に努めながら実施したい。



高城町駅と駐輪場



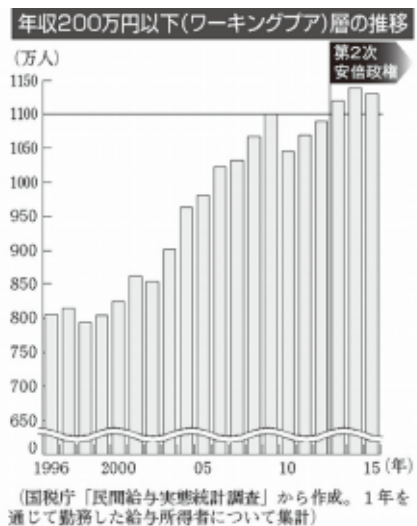
問 貧困対策、庁内連携は

答 各課で情報共有しているが

要保護と準要保護合わせて76世帯、子供の数111人である。

問 進学率が低いなど貧困の連鎖を断ち切ることが重要だが、生まれた時からトータルに実態を把握し支援するための庁内連携はどうか。

町長 子供の貧困に特化した庁内連携は少し欠けているが、子供の状況は各課内で情報共有されており、今後、さらに連携を高めていきたい。



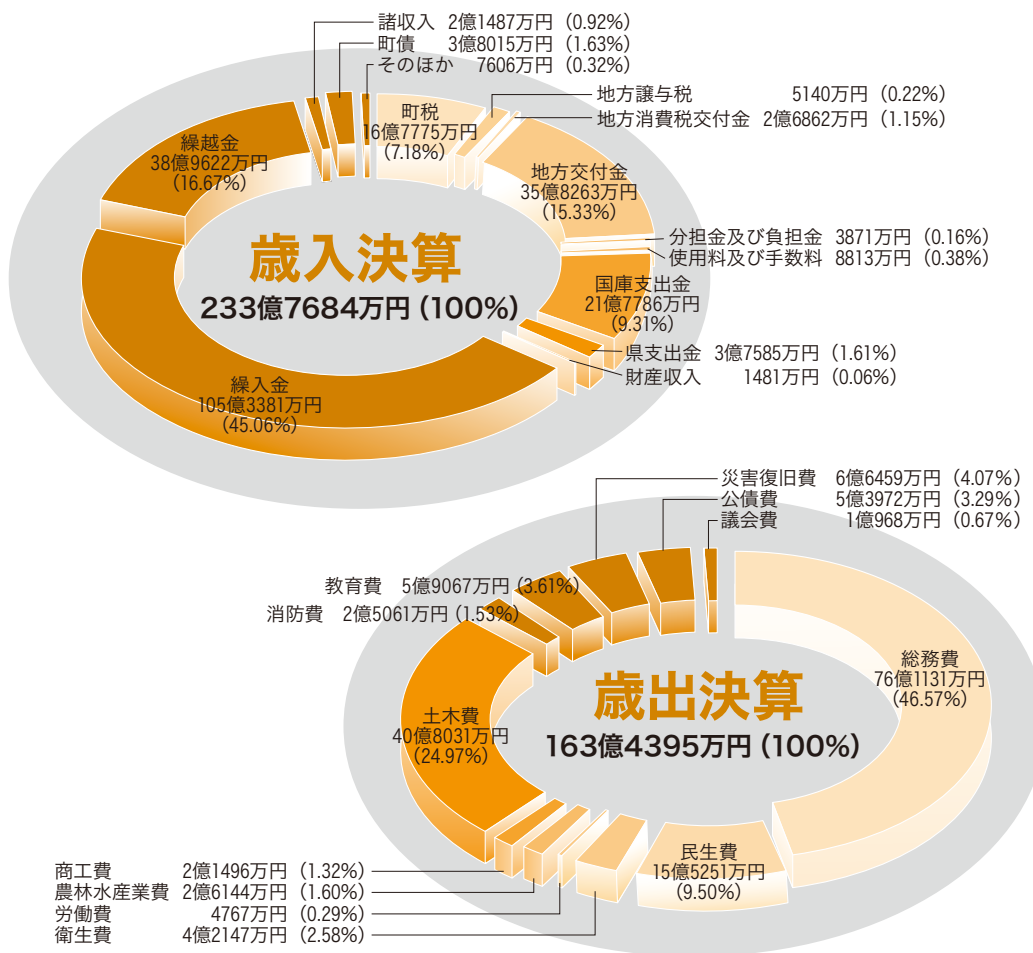
町民福祉課長 町内の住民税非課税世帯が2316世帯、3165人。内、18歳未満のいる世帯は173世帯で子供の数が268人。その内、生活保護は14世帯の28人。

問 子供の相対的貧困率は平成24年、16・3%で、OECD加盟国中ワースト10だ。ひとり親世帯の相対的貧困率は54・6%と非常に高く、所得は2人親世帯の半分以下で子供の高校、大学への進学率も低い。本町での子供の貧困の実態は。

歳入 歳出 認定

約234億 約163億

一般会計決算



※構成比の数値は、四捨五入しているため、数値が合わない場合があります。

平成28年第3回定例会が9月2日から16日までの15日間の会期で開催されました。提案された内容は、議案27件(条例の一部改正、富谷町の市政施行に伴う規約の変更、指定管理者の指定、財産の取得、工事請負契約の締結、各種会計補正予算、議員提案)、諮問1件でした。審議の結果、全て原案のとおり可決しました。また、平成27年度各種会計の決算審査は、特別委員会を設置して審議し、一般会計を含む9会計すべてを認定しました。

決算

一般会計の地方債(借入金)と基金(預金)の状況

預金は20億

町民ひとりあたり 14万円

借金は62億

町民ひとりあたり 42.1万円

項目	金額 (万円未満四捨五入)
基金(預金)残高	20億6351万円
地方債(借入金)残高	62億3813万円

※平成28年3月31日人口：14817人

決算収支は黒字になりました。

歳入歳出差引額 70億3290万円

- ①27年度の繰越事業 59億4863万円
- ②基金に積み立て 5億4300万円
- ③28年度への財源として繰越し 5億4127万円

復興事業とともに 子育て支援の充実



消防小型動力ポンプ付積載車



成人式

このような事業に使われました。

事業名	支出額	内 容
復興推進費	23億6165万円	町実施主体の12事業に対する復興交付金の配分を受け、避難施設や備蓄倉庫の建設工事を実施したほか、耐震性貯水槽を整備し、年度内に完成した。
地方創生費	5919万円	地方創生に係る施策を先行的に推進する地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業を活用し、3割増商品券の発行や公共施設5拠点にWi-Fiを整備するなど、各種事業を展開した。
敬老事業	815万円	敬老会を開催し、式典・アトラクションを催し長寿を祝った。また、88歳に達した方94人、99歳に達した方9人に祝い金を贈った。
子ども医療対策費	2769万円	通院対象年齢を15歳到達年度末までに拡大し、子どもの福祉増進を図った。対象人数は1400人。
児童館費	1646万円	子ども達に健全な遊びの場を提供し、自主性や創造性を育みながら、各種イベントの実施により利用促進を図った。留守家庭児童学級の機能も持ち、利用人数は5872人。
観光費	9771万円	歴史・文化などの松島特有の恵まれた自然環境や地域資源を生かし、松島の魅力発信に務めた。また、観光客の利便と安全を確保するため、富山観音トイレ整備工事及び西行戻しの松公園環境整備事業を実施した。
災害公営住宅整備費	1億95万円	美映の丘地区で整備を進めていた災害公営住宅10戸が完成し、町内全ての災害公営住宅が完成した。
文化観光交流館費	2757万円	大ホールを活用し、多数の豪華演出者を招いて、日本伝統芸能や質の高い様々な芸術文化公演事業を実施した。また、10月より指定管理者制度を導入し、より利用者に親しんでもらえる施設運営に努めた。
公共土木施設災害復旧費	6億4033万円	東日本大震災により被災した道路、漁港の災害復旧に伴う用地買収・物件等の補償や工事を実施した。また、平成26年の台風19号で被災した道路、河川の災害復旧工事を実施した。

平成27年度特別会計歳入歳出内訳

(万円未満四捨五入)

会計名	歳 入	歳 出
国民健康保険	22億426万円	20億6575万円
後期高齢者医療	1億8938万円	1億8851万円
介護保険	15億3295万円	14億8031万円
介護サービス事業	583万円	572万円
観瀾亭等	7718万円	6843万円
松島区外区有財産	225万円	196万円
下水道事業	30億6623万円	17億5949万円

水道事業会計収支内訳

(万円未満四捨五入)

区分	収 入	支 出
収益的収支	5億9979万円	5億9615万円
資本的収支	4500円	9263万円

※水道事業会計の資本的収支に不足する4763万円は、過年度分損益勘定勘定留保資金等で補てんした。



観瀾亭分室

監査委員審査報告

一般会計

平成27年度最優先施策の東日本大震災の復興関連事業では、災害公営住宅が完成するなど着実な推進が図られた。

一般会計予算執行では、厳しい財政状況のもと事務費の節減に努めながら忠実に執行されたが、事務処理過誤や書類の不備も見受けられ、事務処理ミス再発防止検討委員会



監査報告する丹野和男代表監査委員

次に、保健福祉センターは、今後、修繕に4億5000万円が必要で、修繕計画を作成しているが、町民の健康増進施設であり、早期の修繕を望む。松くい虫防除対策では、昨年、県や国に補助の増額を求めるよう要望したが、県は1億円を補正、町も単独補正し、松くい虫の被害木処理費用を対前年比193%としたことを評価する。

水族館跡地利用におい

ては、宮城県観光連盟が跡地活用に係る基礎調査を実施し、県庁内に跡地利用検討懇話会が設置されたが、跡地利用は町の観光活性化に直結するものであり、県等との連絡を密にされたい。

松島運動公園の汚水排水管等補修工事に予備費を充用しているが、充用は軽微な内容について許されるもので、議会の議決を経ず運用できることから、安易な運用を避けるよう望む。

学校の備品管理台帳の整理が途中で備品シールがないものもあった。危険物や安全設備等の取り扱い上、教育課と連携した管理の徹底を望む。

学校給食費では、501万余円の不納欠損処理が行われた。収納対策として訪問徴収、納付相談等に努め、簡易裁判所への支払い督促の申し立てを行うなど評価に値するが、今後も継続した努力を望む。

特別会計

国民健康保険特別会計は、財政調整基金から2億1148万8千円の取り崩しをしているため、実質単年度収支において2億7592万9千余円の赤字となっており、厳しい財政状況が続いている。

介護保険特別会計は、要介護認定の新規申請者を含め介護認定者は年々増えている中で、地域包括センターが核となり相談体制をより充実し、介護支援が適正に受けられ安心して暮らすことができる環境を整えることを期待する。

介護サービス事業特別会計は、引き続き要支援認定者に対し、適切なサービスが効率的に提供できる介護予防サービス計画を作成し、要支援状態の軽減や悪化の防止を図る支援を望む。

観瀾亭等特別会計は、観瀾亭観覧者数が前年度に比べ減となっているこ

とから、ひと工夫期待する。

下水道事業特別会計は、実質単年度収支は1億4768万6千余円の赤字となっているが、松島地区外下水道事業など8事業で、11億3074万1千余円繰り越しとなっている。復興事業であることから、関係機関との協議を円滑に進め、早期に完了することを望む。

水道事業会計

事業の経営と予算の執行は、適正かつ効率的に処理されている。国は、中長期の需要見通しを踏まえた経営戦略の策定を促していることから、県などの助言を求め収支の改善策を策定し、経営基盤の強化を図る必要がある。

監査委員
丹野和男
菅野良雄

町の財政状況は基準内です

指標の名称	松島町の健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	なし	15.00	20.00
連結実質赤字比率	なし	20.00	30.00
実質公債費率	9.2	25.0	35.0
将来負担比率	87.5	350.0	-

会計の名称	松島町の資金不足比率	経営健全化比率
水道事業会計	なし	20.0
下水道事業特別会計	なし	20.0
観瀾亭等特別会計	なし	20.0

総括 質疑

町長の考えを問う

今野 章 議員

情報流出の懸念も

問 社会保障番号制度は、徴税の強化、医療や介護など社会保障給付費の抑制、削減を行うと共に、個人の預貯金情報などまで管理しようというもの。収集された個人情報流出、漏えいで犯罪の多発も懸念されるが、国民総背番号制ともいべき政策について町長の見解を伺う。

町長 マイナス思考だと当然、カードはいらぬという声も広がる。国はプラス思考で物事を考えていると思う。個人情報等の管理は重要だが、利便性についてももう少し広報すべきと考える。

民間の避難計画把握へ

問 地震、津波、風水害など災害時のケースに対応した避難計画の作成が重要と思うが、病院、介護施設、学校など町内施設に対する災害時避難計画策定の指導はどうか

ているか。

副町長 公共施設などは行動マニュアルで対応するが、病院、ホテル関係など、具体的に町が指導したことはない。ただし、消防などがホテル等で防災訓練をする場合、町の職員も訓練に参加している。

危機管理官 今後は、民間施設等の避難計画も町として把握したい。

ゴミ減量目標の達成は

問 気候変動への対応など、地球規模での温暖化対策CO₂の排出削減が問われている。節電やごみの排出抑制、リサイクル等が重要になるが、平成27年度までに一人一日当たりごみ排出量930gの計画目標との関係で町の取り組みは。

総務課長 ごみ減量を主

眼に取り組み、人口減もあるが分別意識の高まりで全体的に下がっている。CO₂排出削減は難しい問題だが、電気製品等の省電力化にも期待し、ごみの減量化に継続して取り組みたい。

副町長 排出目標は掲げていたが、大震災のゴミ処理が落ち着いてきた段階であり、今後、計画の具体化について協議されるところと考える。

教育費の負担軽減を

問 格差拡大社会の中で、等しく教育が受けられるよう校納金など教育費の負担軽減を求めてきたが、軽減されたか。また、部活動に係る経費など父兄負担や部活に係る生徒の休養日、先生方の拘束時間など文科省指導基準との関係からみてどうなっているか。

教育長 校納金の大部分は副教材費等で、無駄にしないよう指導している。校納金の負担軽減には至らず、家庭の教育費負担

として注視し指導したい。

また、部活動の親負担は、具体的な金額までは補足していない。用具や遠征など子どもの望みや親心などでジレンマがあり、頭の痛いところである。部活動休養日については、文科省、県教委からも指導があり、校長に部活動の状況の把握と適切な指導を求めている。

赤間 幸夫 議員

今後の重点施策

問 平成27年度決算を受け、今後特に力を入れなければならないと考える行政施策は。

町長 まずは、子育て部分に力を入れる。次に、平成30年6月に瑞巖寺落慶法要があり、観光地としてしっかりとした体制で臨む。また、復興事業では松島海岸駅前から五大堂にかけすべて完了するように進める。

町政懇談の開催は

問 町民と町政の在り方や運営について、出来るだけ早い時期に町政懇談の場を開く考えは。

町長 町政懇談会は余り考えていないが、平成29年ぐらいいは区長等と意見を交わしていかねばいけないと考えている。

高齢者対策の一助では

問 高齢者対策の一助としてのウォーキングコースの整備や、サイン表示の進捗状況は。

健康長寿課長 ノルディックウォーキングの会を育成しており、現在手樽で3コースのウォーキングコースマップをつくっている。全行政区を対象にただ歩くのではもったいないので、名所とかを織りまぜ健康づくりに生かしていただくようコースマップを作っていく。



総括質疑

防災対策

問 町の防災対策、町長の松島消防署の立地場所に対する認識は。

町長 現在地が必ずしもいいとは言えない。消防事務組合の中で優先順位をつけ、震災の関係上、七ヶ浜や多賀城からやっていきたいということであり、それらの建築計画に沿い松島の番となれば今後検討する。

少子化対策と企業誘致対策

問 他市町に類を見ないような子育て環境と教育



松島消防署

環境の充実、併せて雇用の場の確保が急務。町長の「少子化対策と企業誘致対策」に対する、現在の取り組み姿勢は。

副町長 子育て等施策では、先進地など参考にしたいが、具体的な予算でどう反映させるか、これから財政面、中長期的な考え方もふまえ、整理させていきたい。

町長 企業誘致について、今年も複数社から工場をつくりたいと相談されたが、ベースとなる土地がない、土地利用等を活かす姿勢が足りないなど企業の要望に応えられないのが、実情である。

総括質疑

復興まちづくり対策監

本町の都市計画上の用途からは企業誘致は非常に難しい。

従って、現在進めている東北放射光施設誘致に絡めた土地利用を検討しており、その実現に全力を注いでいるところである。

財産収入確保対策

問 普通財産払下げ申し出にあたり、町民の求めと町側の対応にずれは無いか。

財務課長 測量作業は町民の側でやって頂き、境界の確定とか順次進めていく中で最終的に、契約を行い所有権の移転等、嘱託登記については町が行っている。従って、買いたい側で測量をしていただくべきと思う。

色川 晴夫 議員

区有財産処分の状況は

問 新地方公会計制度に合わせて、平成32年度までに区有財産の調査と整

理を行うが、今の状況は。

財務課長 8月に町有財産全てを把握するため、プロポーザル方式で業者を決定した。不動産鑑定士などにより、9月に各課所有の財産を調査後、法務局とすり合わせし、平成31年度まで整理したい。

議会から指摘で調査した資料は

どうなっているのか。また、調査後の区有財産の方向づけは。

財務課長 調査データは保存されている。ただ、筆界未定など細部は残っており、法務局での確認作業が必要である。その後、区と協議し町の所管となり、区有財産はなくなることになる。

町花「セッコク」をどうする

問 現在の施設は貧弱であり、安定的に供給出来ない状態である。今後運営を続けるには、本格的な施設整備と人的配置を行い、安定的にセッコクを生産すべきと指摘したが現在の状況は。



「瑞巖寺セッコク」として販売

産業観光課長

平成26年度の実績はなく、平成27年度は地方創生の交付金の中から100万円の補助で、実績は400鉢で60万円となっている。28年度は200鉢の目標で取り組んでいる。

更なる松くい虫対策を

問 去年、県は1億円で福浦島周辺の伐倒を行った。町も対策を講じているが、それでも追いつかない。去年同様、県の補助は。

町長 今年度当初予算で1億で伐倒を行っている。近隣首長にも協力をお願いしている。また、海鵜の被害もあり、知事に調査研究をお願いしている。

防犯カメラ設置の成果は

問 議会の提案で西行戻

しの松公園に防犯カメラを3台設置したが成果は。また、町内通学路などに設置を要望したが検討したのか。

総務課長・産業観光課長 現在まで事故、不審なものはない。西行戻しの松公園、観瀾亭分室に設置済である。今後、三十列・石田沢の避難施設に設置する。また、町内設置についてはコスト面もあり明確な計画には至っていない。

水族館跡地利用の現況は

問 水族館が閉館してから1年以上が経った。8月の県との協議はどのような内容であったのか。

町長 やっと第一回目の検討委員会（7名）が開催された。基礎調査の説明で4つの案が示された。具体の中身には至っていないが、10月に2回目の検討委員会が予定されている。町の要望書も出していることから、次回委員会に向け準備していく。

私はここが聞きたい!

～決算審査特別委員会～



小幡公雄決算審査特別委員長

予備費の充用は

赤間幸夫委員 監査委員も指摘しているが、不用品より少額を予備費から充用しているが。

議会事務局長 今回の予備費からの充用は、予算が全くなく、流用や執行変更も難しいため、当初予算の予備費で対応した。

定期預金の運用は

今野章委員 各種の基金を一つにして、その半額を長期間にするような考えはないのか。

会計管理者 条例があるので、それに沿って運用しなければならないが、

他の町の状況等も参考にしていく。

選挙ポスター掲示板

阿部幸夫委員 選挙ポスター掲示板の色が他市町と違っているが。

選挙管理委員会事務局長 公職選挙法で色や材料については規定はない。

職員の健康診断は

櫻井靖委員 要検査、要精密検査の職員は、全員再検査を行ったのか。

総務課参事 要治療が61人、要精密検査が57人で計118人であり、再検査した人が61人で、57人

が未回答であり、引き続き職員に受診するよう話をしている。

職員のメンタルヘルスケアは

色川晴夫委員 メンタルヘルス講座の受講の他にも、管理職はどのように対応しているのか。

総務課長 目線をなるべく下げて、職員と同じ目線で話し合いを持つようにと、また、課長がみずから主事、主査といろいろな仕事以外の話もするようになってきている。

文書保存は大丈夫か

今野章委員 旧庁舎では文書担当が管理していたが現状はどうなのか。

総務課参事 震災以降、文書の管理はきちんとできていない状況で懸念しており、今後進めていく。

交通安全指導員の増員は

赤間幸夫委員 町域の広さから見ても、交通安全指導員の数が少なすぎる

が、増員の方策は。

総務課長 報酬の値上げや、北部4区への推薦依頼や他地区とも別途協議をしている。個別に30代の男性に強く依頼もしている。また、条例の見直しを検討し、隊員の増員を図っていく。

町営バス運行の見直しを

澁谷秀夫委員 町営バスのルートについて見直しが必要ではないのか。

環境防災班長 昨年度は見直しを行っていないが、本年度に町営バス運行見直し検討委員会を発足し、本格的な見直しを行っている。

今野章委員 デマンド交通も含めて検討しているのか。

総務課長 先進自治体である大和町や東松島市の担当者から意見を聞いて委員会でも検討している。

ゴミ排出量目標値の達成を

今野章委員 一日一人当たりのゴミ排出量は達成

できたのか。

総務課長 平成27年度目標は930gであったが、震災以降増加している。10月の町の広報といっしょに、家庭ゴミの簡単な事典を配布する。

保育所の広域入所は

今野章委員 松島で働いている人の子供を広域入所で受け入れる考えは。

町民福祉課長 保護者のニーズは0歳から2歳までが多く、2市3町では見合せている。

水難用機材の配備は

赤間幸夫委員 大衡村で親子3人の水難事故があったが、わが町の消防団には機材はそろっているのか。

環境防災班長 各分団にライフジャケットを5着以上配布しており、救助資機材セットを配備している。

ホームページの バナー広告をふやせ

後藤良郎委員 ホームページ
のアクセス数が増えているが、バナー広告は
逆に減少している。その
対策は。

企画調整課長 バナー広
告の位置や、月単位も含
めて全体的に見直しをす
る。

復興基金の活用は

今野章委員 復興基金は
年度末で約2億4千万円
の残高がある。残れば返
金しなければならぬの
で上手に活用できない
か。

国勢調査の結果は

今野章委員 国勢調査の
町内におけるオンライン
調査の効果は。

企画調整課長 町内のイ
ンターネットでの回答は
1166件で、22・8%

であった。全国平均は
36・9%であった。

緊急通報システムの 運用は大丈夫か

高橋利典委員 通報は19
件で、そのうち3人が救
急車で搬送されたが、協
力員の対応は。

高齢者支援班長 3人の
うち、本人通報が1人、
協力員が2人である。

今野章委員 町のひとり
暮らしの高齢者は739
人である。緊急通報シス
テムの設置台数が、当初
28台、年度末23台では少
なすぎると思うが。



特別委員会現地調査
(富山観音トイレ)

高齢者支援班長 固定電
話のシステムの保有台数
は41台であり、実際に稼
働しているのが23台であ
るが、6台が廃棄予定で
あり、35台で稼働してい
く。なお28年度に10台分
の携帯型の通報システム
を導入する。

色川晴夫委員 老人クラ
ブの会員数が755人で
ある、わが町の高齢者数
に比べて、会員数が低い
のではないか。

元気老人を増やせ

健康長寿課長 担当者が
役員会や総会の場で会員

入会を呼びかけており、
また、会長や区長、分館
長等で話し合い、地域で
集まる場を増やして、会
員増をはかっている。

脳検診助成事業は

高橋利典委員 脳検診費
用助成事業で、対象外と
なった人はどれくらい
か。

健康づくり班長 40歳か
ら5歳まで助成して
おり、75歳が上限である。
今年度は79人が対象外と
なり通知した。

税金の滞納対策は

赤間幸夫委員 税金の滞
納に対して、時期を定め
て職員が直接滞納者に行
くということはないの
か。

特別滞納整理室長 滞納
が始まった早い段階から
文書催告や電話催告等で
対応している。

社会福祉協議会への 補助金額は

今野章委員 社会福祉協

議会への補助金額の根拠
は。

町民福祉課長 町の要綱
に従って交付しているが、
要綱自体が漠然としてお
り、他市町の要綱を参考
にしながら、要綱を変更
し、社会福祉協議会と話
し合って決定する。

児童館の利用状況は

櫻井靖委員 留守家庭学
級と児童館を利用する子
供達の棲み分けは、つま
くいっているのか。

子ども支援班長 両方の
子供達がいっしょに遊ん
だりして、スムーズにい
っている。

保育士不足が大問題

今野章委員 保育士の不
足が言われてから久し
い、この状態で十分な保
育ができたのか。

町民福祉課長 実際、ぎ
りぎりの状態であるが、
平成27年度は、安心・安
全の面で立派な保育がで
きたと評価している。

松くい虫対策を本気で

今野章委員 小石浜や海
岸入口など急傾斜地の松
くい虫被害木の伐倒駆除
など、景観上や危険な区
域を早め早めに対応すべ
きと考えるが、取り組み
はどうか。

産業振興班長 被害が後
を絶たず、県でも事業費
を補正し、抵抗性の苗木
の植樹も増やしている。
また、必要箇所について
は空中散布から樹幹注入
に切り替えるよう要望し
ている。

JRや国道と接する特
に難しい場所では、1本
当たりの事業単価が高く
県でも予算化しづらいと
考えるが、景観を守るこ
とを優先してもらおう。

太齋雅一委員 抵抗性松
を植樹してきたが、今の
生育状況はどうか。活着
が良くないということだ
が、仮植の方法など検討
するべきではないか。

産業観光課長 一定の大
きさになるまで抵抗性松
周辺の下刈りをしている。
あか松は活着率が悪く、
仮植の方法など林業関係

者と検討したい。

また、観光客に松を植えていただき、育つていく松を見に来てもらうような施策も検討したい。

プレミアム商品券の使用期間は

後藤良郎委員 プレミアム商品券の使用期間が2・3か月程度と短かった。他市町では半年というところもあり、何故このような期間設定になったのか。

出会いサポート支援事業の実績は

澁谷秀夫委員 出会いサポート支援事業補助金が計上されているが、その実績は。

産業観光課長 カップリングパーティーは平成21年

度から実施され、昨年度まで8回。参加者は134名、うちカップル成立が46名となっている。

カップル成立後8組のご成婚し、出会いの場としての成果が出ていると考える。

有害鳥獣駆除と出没情報の周知は

色川晴夫委員 クマ出没などによる被害はないが、有害鳥獣駆除対策に係る実績は。また、クマ出没情報の周知はどうしているか。

産業振興班長 有害鳥獣駆除は、春と秋にカラス、カルガモ等の稲作の食害に係る費用で、猟友会に依頼し年2回、4日間の駆除となっており、クマの駆除には対応していない。情報提供については、庁内連携でメール発信、広報車を回すなどで対応している。

セッコクの培養は

阿部幸夫委員 町花「セッコク」がビニールハウ

すで培養されているが、施設として充分なのか。

産業振興班長 ビニールハウスでの夏・冬の温度管理が難しく、苗が枯れている。蘭は、育成自体が難しく、設備の専門家や生育の専門家の指導・助言を得ていきたい。

森林保全は

赤間幸夫委員 立木等の売り払いがされたが、森林保全については緑化推進団体等と連携し植樹するののか。

産業振興班長 現地は県有林で分収契約を結んでいる。現状のままでは大変なので昨年、企業や団体などに山などを貸し出す県事業の「みやぎの里山林共働再生支援事業」に登録した。

ファンクラブ会員への還元は

櫻井靖委員 ファンクラブの会員数が301名に対し会費が25万5000円と少ない。また、支出は23万1300円で会

員数がある割には支出されておらず、会員への還元が足りないのではないのか。

観光班長 正会員と家族会員があり、正会員は209名、家族会員が92名。去年よりも家族会員が多く金額に違いが出ている。全会員に年に一度記念品を差し上げている。その他、ファンクラブの集いや行事、「てんこ盛り賞味会」など会員だけの特典の仕組みをつくっている。

湾クラブ加盟自治体との連携は

色川晴夫委員 「世界で最も美しい湾クラブ」は今後、日本では3か所が加盟予定と聞けが、関係団体等との協議会や連携が求められると思う。町は、今後どうするのか。

産業観光課長 27年度以降、富山県が加入し、今後、天の橋立の宮津湾、静岡の駿河湾と続く。現在、この地域との連携事業を担当レベルで検討しており、28年度は富山県

工事請負費の前払いについて

阿部幸夫委員 工事請負費で前払い金の支払方法は。

建設課長 工事に係る費用は、通常、完成払となる。業者も資金的に厳しくなるなど、資材の購入人件費等を含め全体で前払金という形で、災害復旧事業では契約額の50%、通常の事業は40%となっている。

大ケヤキ伐採にあたり

色川晴夫委員 観瀾亭大ケヤキ樹勢調査業務委託費は今回、歩道拡幅で大ケヤキを伐採することになったが役立ったのか。

観光班長 調査業務は、樹木医の診断も含め調査をし、その判断で今回の大ケヤキの伐採となったものである。



特別委員会現地調査
(手樽地域交流センター備蓄倉庫)

ため池のフェンス設置は

赤間幸夫委員 この夏、大衡のため池で水難事故があったが、ため池のフェンス設置工事は、どのような判断で実施するか。

建設課長 震災の年に死亡事故があり、それを機にため池の安全確保をスタートした。町管理のため池は、102カ所あり、平成23年以降7カ所を整備し、フェンス等の設置済みは13カ所である。

各学校等と打ち合わせ、計画的に年1カ所以上の設置を継続したい。

2つの公衆便所

今野章委員 大郷町境と幡谷の明治潜穴の公衆便所は、国道や県道にある施設であり、町が維持管理すべきなのか。

管理班長 町管理の理由は、町管理を条件に県費用で整備した経緯があった。最近、明治潜穴公園など20年ほど経過し傷んでいる。その改修について県の担当課と相談しており、管理についても交渉する。

小型除雪機の配置

色川晴夫委員 小型除雪機6台とあるが、どこに配置しているのか。

管理班長 現在、冬シーズン以外は町の車庫で保管している。平成27年度実績は、幡谷に2台、高城に1台、下竹谷に1台配置した。数に限りがあり、除雪機の要望は区長を通して事前にお願したい。

松島駅前駐輪場の利用客の減少

櫻井靖委員 松島駅前駐輪場は、仙石線全面開通、仙石東北ラインの運行で利用客が大幅に減ったと思う。指定管理者との協議などはしているのか。

建設課長 松島駅前駐輪場の利用状況は、26年度で約100万円の利用料金が、27年度には80万円ほどとなっている。指定管理の期間は、平成30年3月31日までで、費用面の削減や管理料等についてウイザースと協議したい。

合併処理浄化槽への切り替えは

今野章委員 単独処理浄化槽は合併処理浄化槽より処理水の水质は悪い。合併処理浄化槽へ転換を進めるべきだ。

水道事業所長 数年前に普及地域で説明会を開催した。また広報等で周知もしているが、これまでに以上に普及促進に努力する。

下水道の受益者負担金の未収対策は

赤間幸夫委員 受益者負担金の未収が12件あるが。

経営班長 未届けで転居する場合が一番多い。請求等を行いながら、徴収につとめている。

大雨対策は大丈夫か

色川晴夫委員 観光協会前や、高城川沿いの低地の雨水対策は。

水道事業所長 観光協会前は、建設中の浪打浜のタンク、雨水ポンプ場が

完成すれば解消される。高城の方は、西柳のポンプ場が建設されれば大丈夫である。

下水道使用料の未収が多い

後藤良郎委員 下水道使用料の徴収率アップにつながる対策は。

経営班長 滞納者から分の納の確約をもらうなど徴収確保に努めている。

水道事業の今後は

今野章委員 水道事業の経営状況は上向きか下向きなのか。

経営班長 口径25ミリ以上の事業用の有収水量が下がっており、厳しい状況である。

薬品費が増えている

櫻井靖委員 事業費用のうち薬品費だけがふえているが、その理由は。

経営班長 年々広域の受水量を減らし、二子屋の自己水を増やしているためである。

町道の除草箇所について

高橋利典委員 道路の除草は、路肩から1メートルと決まっているが、もつと刈ってほしい部分もある。刈り残しで数年たつと雑木など手に負えなくなる。

管理班長 草刈り幅の1mの理由は、道路施設や安全施設がはつきり見えること。もう一つは、草刈り機がトラクターにくくアタッチメントタイプで作業を実施していることにある。今後は現地を確認し、調整可能か検討したい。



特別委員会現地調査（長田地区避難施設）

漢字の指導は

阿部幸夫委員 日本が古

来から使ってる漢字について、子供たちにどういう形でウエイトを置き指導しているのか。

教育長 国語の学習指導

要領で、数が学年ごとに決められ、授業の中で丹念に教え、文脈の中で活用し、その意味を捉えさせるといったことが基本となっている。

学力向上に向けて

太齋雅一委員 2、3

年、秋田県の教育を学ぶにかほ市に行っているが、具体的にどんなことを学んできているのか。

教育長 秋田県の学力は

紛れもなく全国一である。にかほ市では、授業を大事にし、子供たちの反応を見ながら、当たり前のことを力を抜かず行っている。

今年度「指導力向上プログラム」と銘打ち、先生方に授業の改善に力を入れてもらうことになっている。

今後も、にかほ市との交流を絶やさず行っていきたい。

中学生の運動能力について

櫻井靖委員 中学校の運

動会を見て運動能力が二分化の傾向にあるように見えた。肥満傾向とともに運動嫌いの子が多くなっているのではないかと町を挙げて運動する機会を作ってはどうか。

教育長 ここ10年位は余

り体を動かすことを好まない子供が増えている。その原因として運動能力が育つ環境になかったと考えられ、幼児期からの基本的運動能力を高めようと今、保育所、幼稚園でコーディネーショントレーニングやキッズトレニングなど子供たちが体を動かす機会を組織的、計画的に育てようと取り組んでいる。

AEDのリースは

高橋幸彦委員 AEDの

リース期間とリースにし

ている理由は何か。また、講習等はようになっていくか。

学校教育班主査 AED

のリース期間は5年で、買い取りと比べて総額的には変わらないが、パットの交換ほか機器の耐用年数等を勘案した時リースの方が有利である。

教育次長 講習について

は、松島消防署の署員の指導の下、中学校は全生徒が訓練している。

教師の時間外について

今野章委員 部活動で優

秀な成績を収めていると聞くが、過剰な部活動や

先生方の指導時間など文科省の指針に照らして問題は無いのか。

教育次長 今回、時間外

等の集計を出したが、80時間超えは最終的に戸締りをして帰る教頭先生など管理職である。一般教員は平均2、3時間だが中総体などが近くなると超過する。また、休養日等は、指針通りにはいかないのが実情である。

瑞巖寺の埋蔵文化財は

色川晴夫委員 瑞巖寺の

保存修理で発掘調査による成果、瑞巖寺の歴史的な価値・再発見などはな

かったか。また、参道の修復工事はいつごろまでかかるのか。

生涯学習班主査 発掘調

査では、本堂の下から鎌倉時代・北条時頼が創建した延福寺の中心的な建物が瑞巖寺本堂の下に残されていた。また、伊達政宗がどのように瑞巖寺本堂をつくったかなども発掘調査で分かった。建物の修理では、筋交いが安土桃山時代のもので貴重なもの伺っている。伊達政宗が当時の最先端の技術を使い、瑞巖寺を創建したことが実証されたと考える。

また参道については、8月末までに発掘調査は終了し、予定どおり工事が進むと考えている。

現地調査

決算特別委員会は、9月8日(水)長田地区避難施設他6ヶ所の現地調査を行いました。

- 富山観音トイレ建設工事
- 手樽地域交流センター 備蓄倉庫建設工事
- 長田地区避難施設建設工事
- 町道手樽、富山駅線法面保護工事
- 町道整備工事（手樽地域全般）
- 古浦地区避難施設建設工事
- 二子屋浄水場施設建設工事（用地造成）



瑞巖寺参道発掘調査

一般会計決算

反対

今野 章 議員

安倍政権は、安全保障法強行など数の力で戦争する国づくりを進めている。この政治は、私たちの生活そのもので町の行財政運営にも反映する。

本町27年度決算を見た時、情報の漏えいが懸念される社会保障・税番号制度の準備が進められ、原子力災害等の避難計画は不十分である。また、気候変動などCO₂排出抑制が求められるが、ごみ排出目標を達成できなかった。復興事業で避難所等が新築されたが、北部地域の集会場の改善も求められる。高齢化の進展で新たな交通体系の構築も望みたい。福祉・教育では、保育士の確保対策、教育費の負担軽減、部活の休養日、残業など文科省指針を順守すべきである。松枯れ対策や自給率を高める独自の農業施策が必要である。

賛成

澁谷 秀夫 議員

平成27年度の一般会計各種事業は、厳しい財政状況の下、震災復興事業と連携を保ちながら施行された。

各種事業の主な成果として、東北放射光施設の誘致実現に向けて各関係機関へ働きかけを行い、町内住民の誘致機運向上を図られたこと、飲酒運転撲滅運動などに力を注ぎ、平成28年3月、“交通死亡事故ゼロ1000日”を達成させたこと、震災復興推進においては、復興交付金の配分を受け、避難所及び避難施設の早期完成に向け努められたこと、教育に関しては、“志”教育の推進、にかほ市との教育交流や学び支援事業を継続し学習習慣の定着化が図られたことなどが上げられる。以上の観点から賛成とする。

国民健康保険特別会計決算

反対

今野 章 議員

国保は、年金生活者や非正規労働者、失業者など無職者の割合が高く、国保税は加入者の負担能力を超えている。

その為、税の滞納者が増え、国保会計の運営は厳しく、国は県単位の広域化を推し進めている。広域化は、加入者の税負担増や厳しい取立てを容易にするだけで、国保運営の改善には至らない。また、国の低所得者の軽減対策は、対象が僅かで不足する財源を加入者が負担するものである。これまで重過ぎる国保税の引き下げを求めてきたが、町は、国から交付された保険基盤安定制度での保険者支援分の活用もせず、広域化を理由に国保加入者の思いに添えていない。財政調整基金と支援分を活用し国保税の引き下げを行うべきである。

賛成

高橋 利典 議員

被保険者の疫病・負傷・出産及び死亡に関して必要な保険給付を行い、社会保障及び国民保険向上に寄与することを目的とする法定強制型医療保険である。

保険事業の特定健康診査では、対象者3136人に対し1473人の受診者で、目標52%の受診率に対し47%で、前年比0.4%の減少となっているが、他の医療機関での受診者もいることから、アンケート等の強化も含め対象者の健康維持の確保に努めて欲しいものである。国民健康保険事業の健全な運営を確保し、社会保障及び福祉の向上に寄与している。また、国民健康保険被保険者の適切な医療を確保するため各種給付を行っていることから、賛成とする。

後期高齢者医療特別会計決算

反対

今野 章 議員

この医療制度は、収入がなくても75歳以上の全員に保険料が課され、75歳以上の人口と医療費の増加により保険料負担が上昇していく仕組みとなっている。制度導入当時の厚労省担当幹部は「医療費が際限なく上がっていく痛みを、後期高齢者が自らの感覚で感じ取っていただく」と、その狙いを語るなど、この制度は、高齢者に我慢と犠牲を強いる冷酷な制度である。

国は、来年度から特例軽減を廃止するとしており、後期高齢者の55%に影響が及ぶ。さらに、医療費1割負担を2割に引き上げることも狙われるなど、このような医療制度は直ちに廃止し、高齢者が安心して医療が受けられるよう制度設計すべきである。

賛成

高橋利典 議員

少子高齢化の急速な進展や、医療技術の進歩、そして国民意識の変化等により、高齢者の方々が安心して医療を受けることができるように平成20年度から開始された制度である。現在は十分に定着した運営がなされていると考えるものである。

町の歳入歳出の経費は義務的経費がほとんどを占め、運用は全て宮城県後期高齢者医療広域連合に委ねられている。以上のことから、本町の高齢者の方々が引き続き安心して医療を受けることができるよう、今後とも宮城県後期高齢者医療広域連合と情報交換など緊密に連携を図っていただくとともに、適正な申請受付事務並びに保険料徴収事務を遂行されることを期待し賛成とする。

介護保険特別会計決算

反対

今野 章 議員

27年度から第6期事業計画がスタート。保険料基準額が前期比18・1%もあがり、基準額が780円も跳ね上がった。

また、介護保険制度は、社会保険費の抑制を進めるプログラム法に基づき、公助の縮小、廃止が前提となった。その為、これまで保険給付だった要支援者の訪問・通所介護が給付の対象外とされ、29年度から町の総合事業によって担われる。費用削減のためボランティアなど無資格者によるサービス提供など、高齢者から専門的支援を取り上げ、利用者や家族に負担を強いることになる。

2割負担の導入や補給給付の見直し、特養入所は介護度3以上に原則限定など介護難民化、老人漂流社会が一層深刻化する恐れがある。

賛成

高橋利典 議員

要介護認定申請者等で951人、前年比9人の増、要介護等認定者実人数では第1号被保険者で855人、第2号被保険者で14人、総数で869人となっている。

平成27年度は介護保険制度が大きく改正されたため、町民に改正された内容も含め介護保険制度の周知を行い、相談体制の充実と関係機関との連携により、対象者の円滑なサービス利用と適正な介護保険運営が図られている。また、第6期介護保険事業計画の初年度として、高齢者の生活を支える基盤を整備するため、民間事業者やボランティア団体、住民の代表等で組織する協議会を立ち上げ、新総合事業の準備体制の構築を図っていることから賛成とする。

議会は進言する

町への意見・要望

○職員の人事と健康管理について

本年3月の予算審査報告の中でも指摘しているが、職員の世代交代が急速に進む中での人材育成に留意されたい。特に精神疾患に及ぶことの無いように、人事とメンタルヘルスケア等に努められることを望む。

○文書管理について

震災と、続く庁舎移転等により、文書の取り扱いに混乱が生じたことは理解できるが、平静さを取り戻した今、整理整頓された文書保存管理の徹底を望む。

○震災復興基金について

震災復興計画の具現化に向け、日々努力されているが、それに伴う基金の活用は、平成32年度までとなっている。期限内にしっかりと目的が達成されるよう一段の工夫を望む。

○ひとり暮らし老人等緊急通報システムの設置事業について

平成27年度23人に通報システムが設置され、2人が緊急搬送におよび地域福祉のネットワークが活かされた。しかし、一方でひとり暮らしの高齢者（65歳以上）は、739人（高齢者人口比14・5％）を数えており、その周知に向けたPR活動に努め、安全・安心なまちの実現へ一層の努力を望む。

○保育士の定数について

安全安心を保持できる人数は確保しているとのことであるが、補助員採用の数合わせでは行政責任を果たしているとは言えない。保育士は国家資格であり、保育士不足の抜本的解決に向けて待遇改善を図り、正規数を配置し子育て支援策を万全なものにすることを望む。

○松くい虫防除対策について

『特別名勝松島』の松くい虫防除対策に、町長はじめ職員が努力されていることは承知しているが、景観上はもとより住民や住宅等に二次被害を及ぼす可能性のあるものは、いち早く伐倒駆除対策を取ることが望まれる。

また、抵抗性松の移植において難があるようであるが、松の活着をよくするため耕作放棄地等を活用し苗木が移植可能になるまで養生・育成することや、また、我が国最初の松くい虫被害発生地であり再生の先進地でもある中国地方の対策などを参考にしながら、松島町自らの問題として取り組むことを望む。

○町花「石斛」について

震災後「石斛」の栽培に苦戦しているようであるが、町花で且つ『松島ブランド』の一つでもあるので、明確な栽培目標を立て、専門家の指導を仰ぎながら早期に施設の改善、栽培体制を構築すべきである。

○2つの公衆トイレについて

幡谷地区・国道346号線沿い・明治潜穴公園と、初原地区・県道大和松島線の町界にあるトイレ2ヶ所の維持管理を、松島町が請け負うのに疑問を呈する。

公衆トイレ設置時の経緯はともあれその負担は大きく、問題意識を持ちその解消に向け、関係機関と早期に話し合うべきである。

○単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切り替えについて

単独処理浄化槽は耐用年数があり、環境保全の観点から合併処理浄化槽への切り替えを促進する対策が必要となってくる。しかし、新規導入と違い廃棄処分費用がかさむことから、高齢化と相まってその実現は難しくなる一方である。水質汚染を避けなければならない松島町にとってこの問題は、積極的な対策が望まれる。

議案審議

避難所つぎつぎ完成



三十刈避難所



三浦避難所

松島町避難施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正

主な内容

磯崎避難所及び名籠避難所の建設に伴い、本条例に当該施設を加える。

賛成全員・可決

指定管理者の指定

主な内容

三十刈避難所の指定管理者を松島区に指定するもの。

質疑

色川晴夫議員

台風10号

で松島地区で三十刈避難所と松島第一小学校の体育館に避難された際、三十刈はテレビ、一小はラ

ジオにて情報を得ていたが、テレビでの情報が必要と思うが。

危機管理監

今後テレビ

がない避難所は整備の方向で進めていくが、当然停電を想定した場合、ラジオという考えもある。

赤間幸夫議員

行政区が

指定管理者になつていて、自然災害で起きた事故、人為的利用者等が起した事故は、どのようになるのか。

指定管理者の指定

主な内容

三浦避難所の指定管理者を手樽区に指定するもの。

賛成全員・可決

宮城県市町村職員退職手当組合理約の変更

宮城県市町村自治振興センター規約の変更

宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合規約の変更

吉田川流域溜池大和町外2市4ヶ町村組合規約の変更

宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更

宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更

仙台都市圏広域行政推進協議会規約の変更

主な内容

平成28年10月10日から富谷町の名称を富谷市に変更することに伴い、規約の変更をするもの。

賛成全員・可決

和解及び損害賠償額の決定

主な内容

和解及び損害賠償の額の決定について、議会の議決をもとめる。

▼事故の概要

平成28年5月20日午前10時頃、松島第二小学校の敷地内において、除草作業中、駐車していた車両に飛び石し、車体側面が損傷したものの。

○損害賠償金

14万8064円

質疑

色川晴夫議員

今回の損害賠償には、保険が適用されるのか。

教育次長

全国町村会総合賠償補償保険制度があり、今回のような町の業務遂行に起因する偶発的な事故の場合、該当するとの回答をもらった。

賛成全員・可決

財産の取得

主な内容

社会資本整備総合交付金（復興枠）で予算の配分を受けた、町道根廻・磯崎線道路整備事業に必要な土地を取得するもの。

▼取得する財産

磯崎字割波三7番1の一部 他6筆

○地積

13,309㎡

○取得金額

2098万5700円

質疑

赤間幸夫議員

今後工事が進んでいくにつれて、想定した取得範囲だけでは収まらず、買い足すことになるか。

建設課長

詳細設計まで終了しており、安定勾配をしつかりとっているのので、追買いは見込んでない。

今野章議員

豪雨時の道路排水は、どのような状態になっているのか。また、割波地域の排水能力との関係も心配だがどうか。

建設課長

国道側は国道に流れると思われ、美映の丘側から運動公園裏手までは華園に、運動公園側は運動公園の反対の田んぼに流れると考えている。下流の末端部まで計算して大丈夫だと確認している。

賛成全員・可決

平成28年度一般会計補正予算(第4号)

主な内容

平成27年度決算に伴う繰越金等について補正するものである。

主な事業は次のとおり。

●高城コミュニティセンター
ター雪止ネット設置事業 120万円

●子育て支援ホームペー
ジ作成事業 236万円

●予防接種事業（B型肝炎ワクチン定期接種）
134万4千円

●根廻磯崎線避難道路整備事業（磯崎側）
1520万円

障害をもった児童が安心して通学できる学校に



第五小学校改修予定箇所

質疑

赤間幸夫議員

来春入学予定の障害のある児童が安全に学べる環境を整備することのだが、過去にも特別支援学級に入っている児童がいたと思うが、そのたびに改修を行っているのか。

教育次長

現在、五小には特別支援学級が2学級あるが、肢体不自由の児童が入る学級がないため、

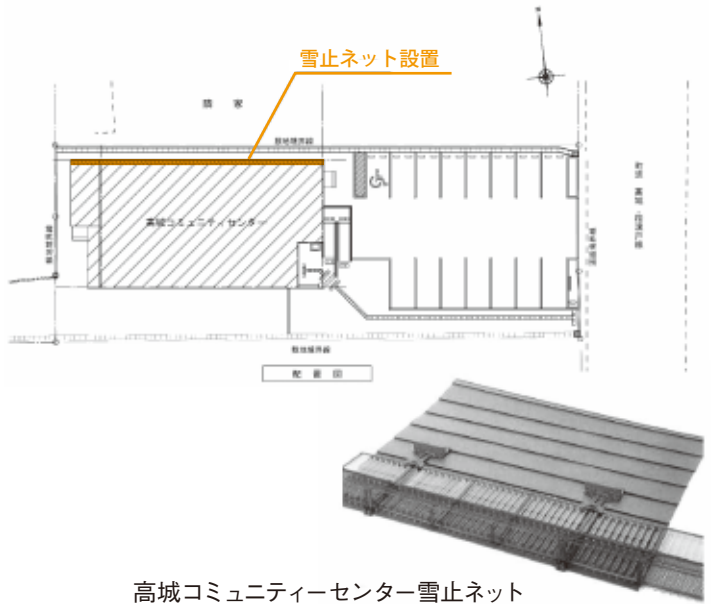
新たに学級を設けることになった。

今野章議員

五小の改修は大規模の改修となるようだが、改修費用はどれくらいを見込んでいるのか。

教育次長

トイレを特注したり、各廊下・階段の手すりなど、おそらく700万円位かかると思われる。



高城コミュニティーセンター雪止ネット

平成28年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

主な内容

平成27年度決算に伴う一般会計繰出金及び繰越金並びに平成27年度退職者医療交付金の確定による返還金について補正するもの。

賛成全員・可決

平成28年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

主な内容

平成27年度決算に伴う一般会計繰出金及び繰越金について補正するもの。

賛成全員・可決

平成28年度松島町介護保険特別会計補正予算(第2号)

主な内容

平成27年度決算に伴う一般会計繰出金及び繰越金並びに平成27年度支払基金交付金の確定による返還金、ニーズ調査並びに介護離職者に関する調

賛成全員・可決

質疑

査に要する経費を補正するもの。

●松島町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画画策定事業

269万円

賛成全員・可決

平成28年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

主な内容

平成27年度決算に伴う介護保険特別会計繰出金及び繰越金について補正するもの。

賛成全員・可決

平成28年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第1号)

主な内容

国道45号松島海岸歩道整備に伴う観瀾亭敷地内の構造物移設、支障木等伐採事業及び平成27年度決算に伴う繰越金について補正し、財政調整基金繰入金を減額するもの。

とから、指定の解除はやむを得ないと町長部局に答申している。

賛成全員・可決

平成28年度松島町松島区外区有財産特別会計補正予算(第1号)

主な内容

松島区及び高城区の平成27年度決算に伴う繰越金について補正し、松島区及び高城区の区有財産へそれぞれ積み立てするもの。

賛成全員・可決

色川晴夫議員 観瀾亭敷地内の大ケヤキは町指定文化財に入っているが、伐採するにあたり、どのような議論がなされたのか。

教育次長 大ケヤキの損傷について、文化財保護委員会を開き議論した結果、内部が空洞化し、根がスポンジ化しているためもう一度再生するのは難しい。交通量の多い国道45号に隣接し、倒木した場合大変危険であること。



観瀾亭敷地内の大ケヤキ

※議決後、伐採に向けて準備が進められていましたが、10月16日(日)に自重を支えきれず国道45号線側に倒木しました。

櫻井靖議員 高城コミュニティセンター雪止ネットは構造上網の目になっており、雪解けの水が落ちてきて跳ね返り、隣接の家で凍って危なくはないのか。

総務課長 水は落ちることとはあるが、隣接の家屋には極力落ちないように設計にはしている。

色川晴夫議員 地域代表の歴史文化基本構想策定委員が松島地区に偏っているのではないか。全町を網羅しながら構想を練っていただきたい。

教育次長 文化財保護委員・分館長の方は根廻地区の方となっている。もつと地域の方々からリストアップすればよいとも考えるが、人数が多くなるのもよくないので絞らせてもらった。

平成28年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)

主な内容

平成27年度決算に伴う一般会計繰出金及び繰越金並びに未整備であった高城字愛宕地内について、汚水管渠整備を実施する経費を補正するもの。

質疑

色川晴夫議員 浪打浜雨水ポンプ場の工事は、瑞巖寺落慶法要までに終了するのか。

水道事業所長 平成30年3月まで終わらせる。

赤間幸夫議員 道路拡幅に伴い下水道だけではなく、上水道も布設替えしたほうがいいのではないのか。

町長 内部で検討したが、工事費が高すぎるため、施工方法を見直した。

賛成全員・可決

平成28年度松島町水道事業会計補正予算(第2号)

主な内容

町道根廻磯崎線道路整備事業の実施に伴う水道管移設に関し、必要所要額の補正を行うもの。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結【石田沢地区避難場所整備その3(工事)】

主な内容

東日本大震災で津波被害を受けた松島地区を対象に、津波浸水区域の背後地に地域住民及び観光客等の安全を確保する避難場所整備として、計画地の舗装工事及び県道赤沼・松島線の拡幅工事を行うもの。

賛成全員・可決

議員提案

特別委員会設置

【議会史編纂特別委員会】

主な内容

松島町議会は、平成29

年に発足70年を迎える。

これまでに、町議会50年史の発行を行ってきたが、その後20年が経過し、その歩みを追録版として発行すること、町議会の歴史を後世に伝え、地方創生に寄与する。

委員長 高橋 利典

副委員長 櫻井 靖

調査期限 調査終了まで

賛成全員・可決

人事

教育委員会の委員

同意

○早川 成美氏 68歳 (松島町竹谷)

○鈴木 康夫氏 65歳 (松島町高城)

人権擁護委員推薦

適任

○村山 秀允氏 73歳 (松島町松島)

議員提案 意見書1件提出

宮城県のごども医療費助成制度に係る県補助の一層の拡大を求める

《要旨》

宮城県知事は、平成28年6月15日から開かれた第356宮城県議会において、子ども医療費助成制度について通院費助成で県補助の対象上限を3歳未満から就学前に引き上げる方針を明らかにしている。

市町村では、震災後、子育て支援施策が重視され、県の制度に独自に上乗せを行い子ども医療費助成制度の拡充を推し進めてきており、今回の県補助の拡大方針を受けて、5市町が制度拡充を検討し、16市町が県の正式決定を待つ対応することになっている。しかし、子ども医療費助成制度は、市町村によって助成対象範囲が異なっているため、同じ県内であっても住む地域によって助成内容に格差が生じている現状である。

安心して子どもを産み、育てることのできる社会の実現をめざすには、市町村における制度の安定化が必要であり、また、子育てに関して自治体間での格差をなくすためにも、県の補助による自治体の財政負担の軽減が必要である。

よって、宮城県においては、下記のとおり子ども医療費助成制度に係る県補助の一層の拡大を行うよう強く要望する。

記

- 1、子ども医療費助成制度の県補助の対象を通院、入院とも中学卒業までにする
- 2、所得制限を緩和または撤廃すること

提出先 宮城県知事

進む沿岸工事

財産の取得

主な内容

社会資本整備総合交付金（復興枠）で予算の配分を受けた町道根廻磯崎線道路築造事業に必要な土地を取得するもの。

質疑

赤間幸夫議員 契約相手方等に対しての単価の決め方はどうなっているのか。

建設課長 不動産鑑定を行い、単価の決定をしている。

今野章議員 根廻磯崎線の中間あたりに道路の構想があるようだが。

建設課長 町道と根廻磯崎線をこの中間付近でつなぐ計画をしている。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結 〔名神漁港防潮堤整備工事〕

主な内容

東日本大震災に係る農山漁村地域整備交付金事業として実施する名神漁港防潮堤整備工事に関するものであり、去る6月30日に入札に付し、議案のとおり請負契約を締結するもの。

○契約金額

1億9764万円

○契約の相手方

東亜建設工業㈱東北支店

質疑

赤間幸夫議員 施工断面の施工方法と地盤改良工法はどうなっているのか。

建設課長 施工断面の施工方法はコンクリートを継ぎ足す方法であり、地盤改良工法は、バックホウ装着の機械で上から攪拌をするという形である。

太齋雅一議員

この業者は他県で事故を起こし入札指名停止を受けている

がどう対応されるのか。

副町長

契約事務審査委員会の中で議論したが、国・県等まだ結論が出ていない。町としては通常の流れで考えている。

高橋幸彦議員

松島湾はノリの養殖の種場になっている。工事に当たっては支障がないよう配慮してほしい。

建設課長

ノリの種付け時期を外した時期からのスタートと考えている。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結 〔名籠漁港防潮堤災害復旧工事〕

主な内容

東日本大震災に係る漁港施設災害復旧事業として実施する名籠漁港防潮堤災害復旧工事に関するものであり、去る6月30日に入札に付し、議案のとおり請負契約を締結するもの。

○契約金額

8400万円

○契約の相手方

東亜建設工業㈱東北支店

質疑

太齋雅一議員

漁業の産業はカキが主である。地場産業を含め維持をするための人づくりやまちづくりをどう考えるのか。

町長

若い人や各種団体等の意見交換を重ねながら進めていく。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結 〔小石浜排水区雨水管渠築造工事〕

主な内容

東日本大震災復興交付金事業として実施する小石浜排水区雨水管渠築造工事に関するものであり、去る6月30日に入札に付し、議案のとおり請負契約を締結するもの。

○契約金額

1億5120万円

○契約の相手方

奈良建設㈱仙台支店

質疑

色川晴夫議員

今回の工事は小石浜の住宅地の中を通っての工事である。

住民の方や緊急車両の通行等の対策は。

水道事業所長

請負業者と調整をしながら必要なルートを確認していく。

賛成全員・可決

平成28年度松島町 一般会計補正予算 (第2号)

主な内容

東日本大震災復興交付金事業第15回配分交付可能額通知のあった事業及び復興庁から既に交付金が配分されている事業についての補正するもの。

質疑

赤間幸夫議員

避難施設における自家発電装置の保守管理はどうなるのか。

副町長

当面は町職員や電気保安協会の両方で見えていく。

賛成全員・可決

研修レポート 第1常任委員会

「インバウンド政策の取り組みについて」

2020年に開催されるオリンピック控え、外国人観光客受入体制の強化は、当町の喫緊の課題であることから、当委員会は、インバウンド政策の取り組みについて所管事務調査を行った。

① 沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）

沖縄県は、外国人観光客数の伸び率が他の地域に比べ群を抜いて急上昇しており、OCVBでは、外国人観光客の満足度を上げること、リピーター率を向上させ、入域外国人観光客の増加につなげようとしている。

外国人観光客に対して、沖縄縄を深く楽しんでもらうため、多言語によるパンフレットを作成し、沖縄・日本の文化・風習、マナーについて紹介し、県民向けに「沖縄おもてなしハンドブック」を配布し、県民に対して外国

人観光客に対する理解とおもてなしの心呼びかけている。

また、観光危機発生時の観光客への対応が観光のイメージとなるとしている。

国内旅行の観光客数が頭打ちの中「安全・安心・快適な観光地」として、松島にしかない魅力を発信し、海外での認知度向上に努めなければならないと感じた。

② 沖縄県国頭郡 本部町

本部町は、世界的にも有数な「美しい海」に恵まれ、「海の幸」「山の幸」をここでしか味わえない最大の魅力としているが、訪れる観光客の大部分は、「美ら海水族館」を中心の観光である。多様なニーズに応えられる受入体制整備の遅れと宿泊者が少ないことが課題とされている。

しかしながら、美しい海と沖縄の食、そして自

然は、大変な魅力であり、観光客は今後益々増加するものと考えられる。

本町においても復興事業も進んでおり、平成30年には、瑞巖寺の修復工事も終了する。また、水族館跡地利用も期待されることから、産業観光課、観光協会、連携のもと議会も積極的に関わりをもって取り組む必要がある。



沖縄観光コンベンションビューロー

研修レポート 第2常任委員会

「PFI方式による子育て支援住宅の整備について」「日本の子育て村構想について」「合計特殊出生率日本への取り組みについて」

所管事務調査として

「少子化対策」を取り上げ、今後の松島町の行政施策展開に対し、議会側の視点から、その手法・手段等の面を考察できる見識の一助とするため、本町における少子化対策の推進にあたり、先進的取り組みを行っている自治体を視察研修することとした。

① 広島県坂町

坂町におけるPFI事業は、広島県が事業主体となつて進められており、町としては提案に乗りやすかつたのではないかと考える。第1期、第2期事業では20%以上の経費削減ができたとしているが、第3期事業は一般競争入札と指定管理で実施されているなどPFI事業を採用する利点が見えてこなかった。

日本全体が少子高齢化と人口減少が進む中で、

② 島根県邑南町

邑南町は平成16年の合併当時の人口1万2944人が、平成22年には1万1959人と5年間で985人の減少となり、危機感を持った町は平成22年度から平成27年度までの6年間を計画期間として過疎地域自立促進計画（後期）を策定した。

その中で「日本一の子育て村構想」を立ち上げ、子育て支援や定住促進に町独自の経済的な負担軽減の制度を設け『持続可能なまち』を目指している。人口は直近の5年間で推計を上回る結果となり、人口減少は鈍化している。

③ 岡山県奈義町

奈義町は、「活力と笑顔が溢れるまちづくり」の実現のため、全ての事業施策において町民、行政、議会が相互に連携し力を合わせた取り組みを行っている。

平成14年12月に合併の是非を問う住民投票を実施しており、「単独町制」で歩むことを決定した。住民投票の結果を基に行政並びに議会は、相当の覚悟を持って行財政改革を行い、事務事業への取り組みを行つてきている。その結果、「合計特殊出生率日本一」への取り組みがあり、マスコミ等に取り上げられ、話題になったことを契機に、更にその取り組みを中心に高齢者在宅看取り率（自宅死亡率）岡山県No.1が示す高齢者介護支援施策なども徹底した取り組みが行われている。

シリーズ 第6弾 特別委員会 活動記録

議会活性化調査特別委員会

(調査概要)

本特別委員会は、平成26年3月、議員提案として設置され、調査期間を平成28年9月定例会と定め、議会の活性化について調査検討を行ってきた。調査検討事項として、16項目であり、延べ日数は21回を数えております。

(中間報告)

議員報酬の見直し・視察研修に係る旅費・常任委員会の任期については、平成27年9月。情報公開は平成28年6月定例会において、中間報告がなされている。

(主な調査結果)

①常任委員会の任期は現行の4年から、2年とし議員個々の活動・取り組みを考慮した。

②政務活動費の対象経費

について、より具体的な申し合わせ事項を定めるとし、交付金額は現状維持とした。

③通年議会開催は、専決

処分抑制・陳情・請願等の迅速化のメリットはあるが、現状の委員会対応でも可能であると判断し見送ることとした。

④議会傍聴規則の規定

について現状に照らし、時代に合わせた文言の整理が必要と判断し、条文の字句等、規則の改正を図ることとした。

⑤議会広報発行対策特別

委員会の常任委員会化は、年間を通じて活動しており、議会のさらなる公開を進めていくうえで、常任委員会を設置する意見で集約し

委員長 澁谷 秀夫

た。
○今回の議会活性化特別委員会での、議会活動の中で、対応が図れるものの変更または改正を図るべきもの等、それぞれの調査項目に対し、特別委員会として調査結果を集約することができた。



東北放射光施設誘致調査特別委員会

平成28年7月1日に松島町放射光施設誘致協議会総会が開催された。

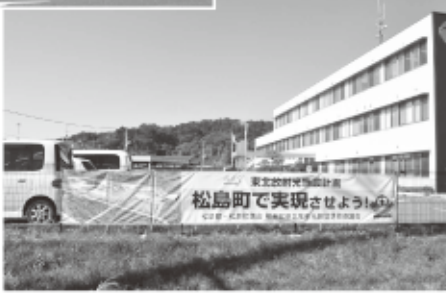
議会から委員である、正副議長、特別委員会の正副委員長が出席した。

委員長 高橋 幸彦

総会では、昨年度の活動内容と予算の執行状況が報告され、今年度の活動としては、役場前の国道45号線沿い含む、3カ所に看板を設置することが決定した。



国道45号線沿い



役場前

東日本大震災復興対策特別委員会

委員長 阿部 幸夫

現在継続中である、国・県・町の主な事業名を報告します。

○国道45号歩道拡幅は平成30年完了見込み。

○県事業松島大橋の架け替えは平成31年完了見込み。

○県事業高城川の護岸整備は平成30年完了見込み。

○県事業磯崎漁港護岸整備は、平成29年完了見込みとなっている。



平成28年 第2回松島町議会臨時会 議案採決結果

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	澁谷秀夫	赤間幸夫	櫻井靖	後藤良郎	小幡公雄	高橋幸彦	今野章	太齋雅一	色川晴夫	菅野良雄	高橋利典	阿部幸夫	片山正弘	賛成	反対	
議案第59号	財産の取得について	7月19日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第60号	工事請負契約の締結について【銭神漁港防潮堤整備工事】	7月19日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第61号	工事請負契約の締結について【名籠漁港防潮堤災害復旧工事】	7月19日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第62号	工事請負契約の締結について【小石浜排水区雨水管渠築造工事】	7月19日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第63号	平成28年度松島町一般会計補正予算(第3号)について	7月19日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0

平成28年 第3回松島町議会定例会 議案採決結果

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	澁谷秀夫	赤間幸夫	櫻井靖	後藤良郎	小幡公雄	高橋幸彦	今野章	太齋雅一	色川晴夫	菅野良雄	高橋利典	阿部幸夫	片山正弘	賛成	反対	
議案第86号	平成27年度松島町一般会計歳入歳出決算認定について	9月15日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	11	1
議案第87号	平成27年度松島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月15日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	11	1
議案第88号	平成27年度松島町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月15日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	11	1
議案第89号	平成27年度松島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月15日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	11	1

賛成全員

議案第64号	松島町避難施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	議案第80号	平成28年度松島町介護予防サービス事業特別会計補正予算(第1号)
議案第65号	宮城県市町村職員退職手当組合理約の変更について	議案第81号	平成28年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第1号)
議案第66号	宮城県市町村自治振興センター規約の変更について	議案第82号	平成28年度松島町松島区外有財産特別会計補正予算(第1号)
議案第67号	宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合理約の変更について	議案第83号	平成28年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案第68号	吉田川流域溜池大和町外2市4ヶ町村組合理約の変更について	議案第84号	平成28年度松島町水道事業会計補正予算(第2号)
議案第69号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更について	議案第85号	平成27年度松島町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第70号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更について	議案第90号	平成27年度松島町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について
		議案第91号	平成27年度松島町観瀾亭等特別会計歳入歳出決算認定について
議案第71号	仙台都市圏広域行政推進協議会規約の変更について	議案第92号	平成27年度松島町松島区外有財産特別会計歳入歳出決算認定について
		議案第93号	平成27年度松島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第72号	指定管理者の指定について【三十刈避難所】	議案第94号	平成27年度松島町水道事業会計決算認定について
議案第73号	指定管理者の指定について【三浦避難所】	議案第95号	松島町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
議案第74号	和解及び損害賠償の額の決定について	議案第96号	松島町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
議案第75号	財産の取得について	議案第97号	工事請負契約の締結について【石田沢地区避難場所整備その3工事】
議案第76号	平成28年度松島町一般会計補正予算(第4号)について	議員提案第5号	宮城県の子ども医療費助成制度に係る県補助の一層の拡大を求める意見書について
議案第77号	平成28年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		
議案第78号	平成28年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	議員提案第4号	議会史編集特別委員会設置に関する決議について
議案第79号	平成28年度松島町介護保険特別会計補正予算(第2号)		

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※片山正弘議員は議長のため採決に加わりません

一般会議 町民との意見交換会

テーマ「議員報酬見直し」

平成28年8月6日(土)午後2時役場大会議室において、「議員報酬の見直し」をテーマとして町民の方々と議員全員の参加により開催された。

テーマである「議員報酬の見直し」については、これまで区長会との意見交換、議会報告会として広く町民の意見を聴取しており、今後の流れを配布資料に基づき説明した。その後、意見交換に入った。

町民の皆さんから出された意見は、次のとおりです。

- ① 「議員報酬見直し」という大事なテーマなのに7月と8月の町広報に折り込みだけの案内でいいのか。この意見交換会は、成立するのか。
- ② 報酬等審議会（町長の諮問機関）へ議員が意見を出せるのか。また、今回の見直しに対し全議員が同意されているのか。
- ③ 働きに見合う報酬は出すべきで、報酬見直しをもたらす効果、つまり活きた金の使い方をしても



らいたい。

④ 議会改革を全面に打ち立て、町民に理解される議会活動が報酬見直しに繋がるのでは。

⑤ 議員報酬を上げる以前の話として、町民の理解や関心を引くことが必要であり、その工夫をしてほしい。

これら皆様の貴重なご意見を、これからの議会活性化に活かしてまいります。

区長会との意見交換会

平成28年度議会報告会の開催に先立ち、平成28年9月16日(金)行政区長会と日程・テーマ等について意見交換を行った。

まず、議会活性化の要点報告を資料に基づき澁谷活性化委員長から行い、各区長から質疑が出された。

議場における携帯品をはじめ政務活動費、議会傍聴規則の改正内容の確認、議会報告会の町民出席率を高めるための日時や役員会などに合わせた開催の工夫、更には議会報告会自体の中身として、町民が「松島を何とかしたい」という同じ考えを、共有できる場となる内容にしてほしいなどの意見が主であった。

次に、行政施策に対する地域の要望事項では、民生委員候補者、北部4区の買物困難、少子高齢化問題、道路問題、避難所と役場の情報連絡網、避難道路と防犯灯、ごみ



集積所、交通安全、防災対策等の項目に対し、各行政区長から意見が出され活発な交換会となった。

区長会出席者

- 小畑 隆 保様 (下竹谷区長)
- 澁谷 正 徳様 (初原区長)
- 木村 勇 一様 (北小泉区長)
- 蜂谷 雅 美様 (松島区長)
- 水間 邦 夫様 (高城区長)
- 濱田 敏 幸様 (本郷区長)
- 石田 堅 様 (磯崎区長)
- 樋口 秀 吉様 (手樽区長)
- 早川 節 男様 (上竹谷区長)
- 阿部 隆 一様 (幡谷区長)
- 片倉 誠之助様 (根廻区長)
- 内海 博 之様 (桜渡戸区長)

一部事務組合議会報告

宮城東部衛生 処理組合議会

平成28年7月1日(金)、宮城東部衛生処理組合議会第2回定例会が開催された。

ごみの搬入状況及び使用済小型電子機器等再資源化事業の事業者決定、さらに焼却灰・排ガス中の放射性物質濃度及び埋立地浸出処理水・地下水・各種敷地空間放射線量の測定結果が基準値内もしくは不検出である旨の報告があった。

今回の議会では、平成28年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算(第1号)について、多賀城市の雨水整備事業を行うに当たり、工業用水道管が支障となることから、移設工事に関する設計業務について提案され、賛成全員で可決された。

後藤 良郎 議員
今野 章 議員

塩釜地区消防事務組合議会

平成28年7月4日(月)、塩釜地区消防事務組合議会第2回定例会が開催された。

行政報告では、消防事務組合一般会計、介護認定審査事業特別会計、障害者自立支援審査事業特別会計、環境組合会計の4事業について黒字決算見込みであることが報告された。平成27年度の業務概要については、管内での火災発生件数は19件で、その内松島町は1件の発生である。救急出場件数は3582件で、その内松島町は388件である。

次に、要介護認定審査状況は、審査会開催数297回、審査判定は8863件であり、障害者支援区分審査状況は、審査会開催数31件、審査判定は363件であった。また、し尿及び浄化槽汚泥の搬入総量は1万846トンで対前年比73トンの増であった。また、斎場の利用実績は2

215件で対前年比49件の増であった。

今定例会の議案審査では、議案第11号財産取得について、多賀城消防署に配備している高規格救急自動車の更新であり採決の結果、賛成全員で可決された。

高橋 利典 議員
赤間 幸夫 議員



宮城県後期高齢者 医療広域連合議会

平成28年8月4日(木)宮城県後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会が開催された。

今定例会には、①平成28年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計決算及び後期高齢者の認定について、②平成28年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算について、③平成28年度宮城県後期高齢者医療広域連合特別会計補正予算(第1号)について、④議員提案、後期高齢者の保険料軽減特例措置に関する意見書について、⑤議員提案、東日本大震災被災者に対する医療費の一部負担金免除に関する意見書について、以上提案され、すべて原案どおり可決・認定された。

色川 晴夫 議員

吉田川流域溜池大和町外 2市4ヶ町村組合議会

平成28年7月25日(月)、吉田川流域溜池大和町外2市4ヶ町村組合議会第1回定例会が開催された。

平成27年度吉田川流域溜池大和町外2市4ヶ町村組合会計歳入歳出決算認定については、原案どおり可決された。

平成28年度吉田川流域溜池大和町外2市4ヶ町村組合会計歳入歳出予算については、歳入総額、歳出総額ともに194万円とし、歳入の主なもの、市町村の負担金であり、歳出の主なもの、修繕費及び堤体草刈り等であり、原案どおり可決された。

今後の事業計画は、平成27年9月関東・東北豪雨によって、底盤の破壊等があり、災害復旧計画が7400万円で行われる。併せて嘉太神溜池の現地調査を実施した。

阿部 幸夫 議員

にかほ市議会との

意見交換・議員交流会

平成28年8月9日から

2日間の日程で、秋田県にかほ市議会と観光事業の取組みと、議会活性化について意見交換を行った。

にかほ市議会菊地議長
の歓迎の挨拶と松島町議
会片山議長の研修受け入
れに対するお礼挨拶に始
まり、「議会活性化」と
して議会報告会の持ち方
に、双方の議員が真剣な

意見交換を行った。

特に、議会報告会の持
ち方では双方議会とも住
民参加人数の伸び悩みが
課題となっており、その
打開策の創意工夫や住民
の関心話題、特に予算・
決算情報の公開などを中
心に情報交換や意見の交
換が行われた。

また、観光事業の視察
としてにかほ市・観光拠
点センター「にかほっ

と」の实情視察、「フレ

ライトこども科学館」、
「白瀬南極探検隊記念
館」、「象潟郷土資料
館」、国天然記念物「象
潟」蚶満寺などを学芸員
から丁寧な説明を受け、
松島町と比較できたこと
は大変、勉強となりこれ
からの議会活動に生かせる
ものとなった。



意見交換会



にかほっ



フレライトこども科学館

議会活動

◆主な活動内容

・平成28年7月27日宮城
県町村議会議員講座

「宮城県の行政評価制
度について」、「地方議
会人としての責任を果た
すために」の2つのテー
マで講座が開かれ、2名
の議員が参加した。

・平成28年7月28日宮城
県町村議会議員講座

「みやぎの協働教育に
ついて」、「地域で少子

化社会を考える「少子化
対策と地方創生」の2
つのテーマで講座が開か
れ、5名の議員が参加し
た。

・平成28年7月29日宮城
県町村議会議員講座

「宮城県の慣行の現状
と今後の展開について」、
「昭和の町村合併前の住
民自治組織が未来を切り
拓く」のテーマで講座が
開かれ、7名の議員が参

加した。

・平成28年8月22日宮城
県町村議会議員研修会

「七ヶ浜町の震災後の
復興状況と課題」、「今
後の政治・経済と地方自
治のあり方」の2つのテ
ーマで講座が開かれ、10
名の議員が参加した。

・その他

6月～9月にかけて町内
各種団体の総会への参加、
町の行事、夏祭り等に積
極的に参加し、町民に見
える活動を行った。



宮城県町村議会議員講座



宮城県町村議会議員研修会

議会活動

町民の声



佐藤 正和さん
(高城)

住みよい町へ

今や、少子高齢化対策は、まったなしの課題です。本町でもいろいろ検討し、その解決に努力されている事は理解しているつもりですが、素朴な疑問が一つあります。

それは本町にはお隣の市町村にある様な大型店がほとんどないという事です。面積だけは大いに、特に家族等で団らんし、ほっと一息つくようなファミリーストラン風な店は一つもありません。震災前はありませんでしたが今は姿を消しました。そこでお願いですが、町で食事のできる大型チェーン店を誘致して欲しいと思います。若い世代の方も賛成してくれると思います。

わが町には、いろいろな法律や制約があつて難しいとは思いますが、それらの規則も、そこに住む人があつての事、議会や商工会の皆さまにも、ご検討いただきたいと思つます。

観光松島の対策も大事ですが、こんなささやかな願いも実現すれば、少子高齢化対策の一步になると思つます。住みよい町の一項目が増えるとう期待します。

townspeople

視察来町

宮城県南三陸町議会 行財政改革に関する特別委員会

8月1日(月)、南三陸町議会の特別委員会が、議会基本条例制定までの経過と議会活動等の調査のため、視察来町しました。松島町議会基本条例の策定経過等についての説明後、意見交換を行いました。

北海道札幌市議会 自由民主党議員会

9月26日(月)、北海道札幌市議会の会派が、震災復興施策等の調査のため、視察来町しました。復興施策の取組状況についての説明後、意見交換を行いました。

表紙を飾られた皆さんからのメッセージ

松島ボランティアガイド 今野 勝正

私たちは、松島観光協会を事務局として活動しているボランティアの観光ガイドです。県内外からのガイドの要請に応じて、お客様の好みや時間に合わせてコースを巡ったり、土・日曜日は雄島を拠点とした自主ガイドも実施しています。ネット効果で「松島三橋」の知名度がアップした事もあつて、松島と云う地名発祥の地・雄島を訪れる人が増えてきました。

ご案内したお客様に喜んでもらった時や、感謝の手紙を頂いた時は「ガイド冥利」に尽きる思いです。

毎月の定例会は相互研鑽の場であると共に親睦の場として定着しています。一緒に学びながら、「おもてなしガイド」をやってみたいと思う方を募っております。

次回12月の定例会は

12月9日

開催予定です。
ぜひ、傍聴に
おいで下さい。



編集後記

今年の台風、今のところ、幸いにも本町に大きな被害もなく、ほっとしております。どのような事態になつても対応できる防災力があらためて問われていると思つます。

10年ぶり、2回目の議会広報委員であります。前回手書き、今回はパソコンを使用しての編集に月日を感じます。

さて、9月定例議会が2日から16日まで開会され、27年度各種会計決算を主な議題として、町当局と議員との真剣な議論が交わされました。

議会だよりは、町民の皆様にお伝えする大事な広報誌であります。年4回、定例会終了後に発行しておりますが、少しでもわかつていただけるよう見やすく、そして読みやすい編集内容を心がけて参ります。

(後藤 良郎)

議会広報発行対策特別委員会

- 委員長 阿部 幸夫
- 副委員長 櫻井 靖
- 委員 赤間 幸夫
- 後藤 良郎
- 高橋 幸彦
- 今野 章



編集作業中の委員

読みやすく
親しまれる
広報づくりを
めざして